

【参考】 令和2年～令和3年に発生した飲酒・酒気帯び運転

(地域は事業者所属の地域、カッコは発生営業所の所在地域)

	地域	月日	道路 種別	当事	事故内容	死 者	重 傷
1	花巻	R2.5.28	湯沢横手 道路		19時30分頃、秋田県湯沢市内の湯沢横手道路「湯沢IC」出口にて飲酒運転の取り締まりが行われており、運転手の男性(50歳代)から基準値を超えるアルコールが検知され、湯沢警察署に連行された。 当該運行は、4泊5日の運行計画で、関西地域から岩手県内に帰庫する途中であった。なお、 酒は運行途中に購入し、飲酒した模様 である。		
2	一関	R2.7.21			6時30分頃、北上市内のコンビニ駐車場から公道に出た直後、警邏中の警察官に職務質問され、運転手からアルコール(1ml当たり0.15mg)が検知され連行された。 当該運行は、3泊4日の運行計画で、岩手県から富山県、長野県を経由し帰庫する計画であったが、岩手県内で積み込み後、 自宅のある北上市内の飲食店にて飲酒し、翌日早朝に出発した模様 である。		
3	花巻	R3.6.27	国道		21時頃、福島県国見町の国道において、大型トラックの運転者が運行中、「トラックがフラフラ運転している」との 通報 により駆けつけた警察官に止められ、 飲酒運転により逮捕 された。この事案による事故は発生していない。 当該運転者は、 乗務途中に缶酎ハイ等を飲み運転 しているが、その飲酒量は、500ml缶を6本飲酒しており、内訳はアルコール度数9%の缶が3本、7%の缶等が3本と推定される。【東北運輸局自動車技術安全部の情報より抜粋】		